

環境経営レポート

対象期間：2023 年 8 月から
2024 年 7 月まで

作成日：2024 年 9 月 1 日
株式会社テクノサイシング

1. 組織の概要

① 事業者名及び代表者名

株式会社 テクノサイシング

代表取締役 斉藤 剛

② 所在地

本 社：〒124-0023 東京都葛飾区東新小岩 8-40-1

墨田支店： 〒130-0011 東京都墨田区石原 4-25-12

③ 環境管理責任者氏名及び担当者氏名と連絡先

環境管理責任者：取締役統括部長 斉藤大輔

EA21 事務局兼問合せ先：総務部 阿出川誠

tel : 03-5608-3131 Email : soumu@saising.co.jp

④ 事業の概要

官公庁自治体の諸施設、学校、マンション、工場倉庫、店舗等の電気工事の施工管理

建築業許可：電気工事業 東京都知事 許可（特-30）第 109948 号

⑤ 事業の規模

創業 昭和 46 年 11 月 1 日

資本金 20 百万円

売上高 4, 426 百万円 (2024 年 7 月決算)

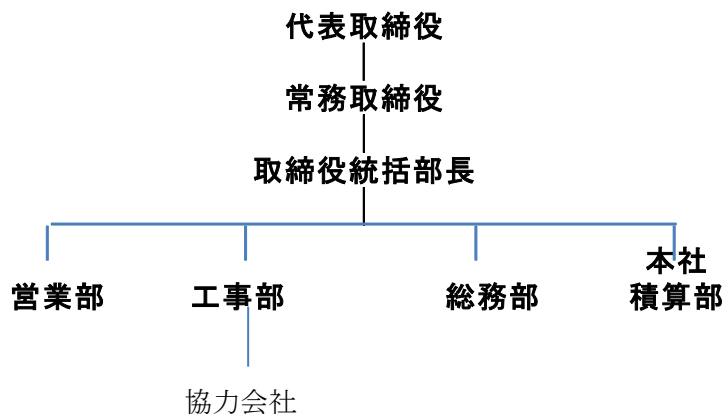
従業員数 33 名

延べ床面積 本社 95.04 m²

墨田 4階 227.12 m² 6階 227.12 m² 7階 227.12 m²

計 681.36 m²

⑥ 組織の概要



2. エコアクション 2.1 対象範囲（認証・登録範囲）

・全組織（本社、墨田支店）

・官公庁自治体の諸施設、学校、マンション、工場倉庫、店舗等の電気工事の施工管理

3. 環境経営方針

株式会社テクノサイシング

環境経営方針

<企業理念>

株式会社テクノサイシングは、ビル等への電力インフラ設備の提供を通して、技術力を向上し、チーム力を高め、環境マネジメントシステムを有効活用して、安全な工事環境、顧客信頼と地域の安心を実現します。

<環境経営への行動指針>

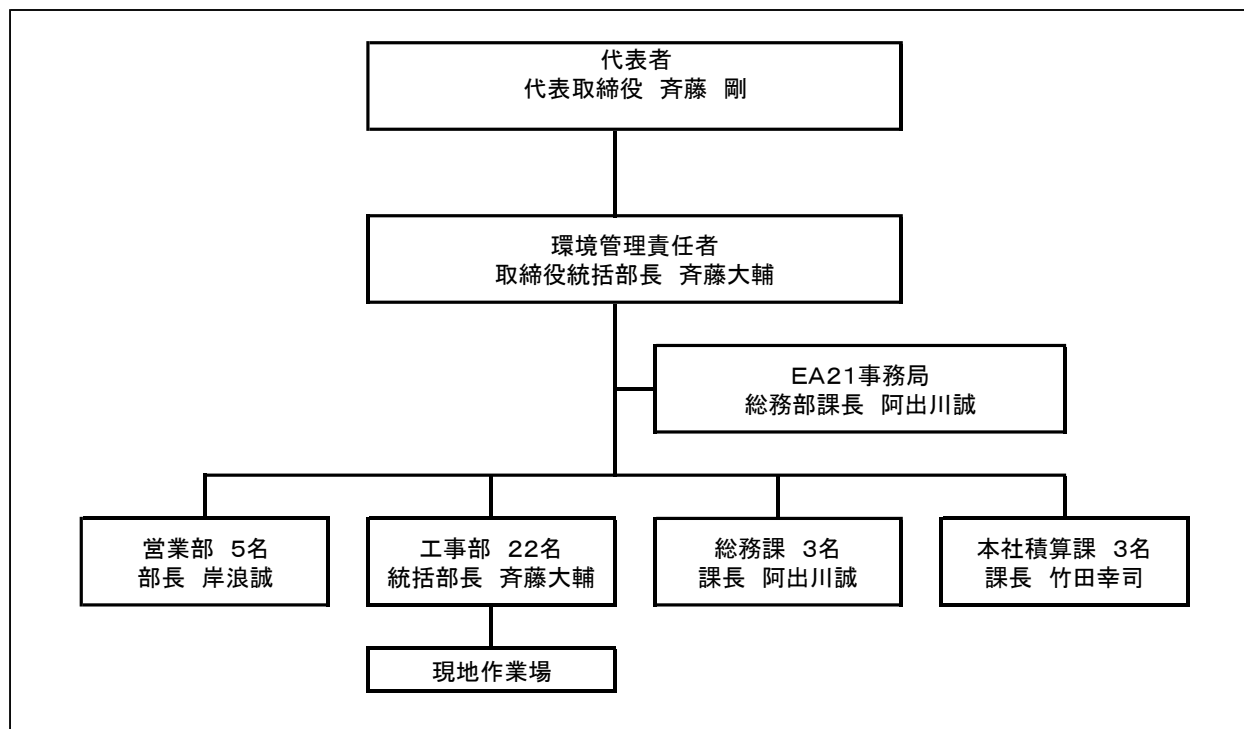
1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 具体的な環境経営目標を定め、継続的改善に努めます。
 - ① 省エネルギーに努め、二酸化炭素排出量を削減
 - ② 廃棄物の削減と再資源化促進
 - ③ 節水に努めます。
 - ④ 環境配慮商品を積極的な活用
3. 従業員並びに工事関係者の環境スキル向上に努めます。
4. 環境経営レポートをホームページで公開します。

2024年9月1日

株式会社テクノサイシング

代表取締役 斉藤 剛

4. 実施体制



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な設備・費用・時間・人を用意 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境管理責任者を任命 ・代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	・環境経営システムを構築・運用する（代表者からEA21の権限を委任） ・実施体制の構築（組織図及び役割・責任・権限） ・環境経営目標・環境経営計画書/実績表の作成 ・教育・訓練の実施を指示 ・環境上の緊急事態への準備・対応 ・環境経営レポート作成 ・環境経営の取り組み結果を代表者へ報告
EA21事務局	・EA21の推進（環境管理責任者の指示を受けて） ・環境への負荷チェックシート、環境への取組チェックリスト作成 ・環境関連法規等の取りまとめ表作成と遵守評価実施 ・取組みの実施状況確認 ・環境関連文書類の管理
担当者	・環境経営目標及び環境経営計画の実施・確認・評価、達成状況の報告 ・環境活動におけるチェックリストの記録・運用管理 ・実施上の問題点の是正・予防処置実施
全従業員	・環境経営方針を理解し、環境への取り組みの重要性を自覚 ・EA21で決められた各自の役割を実施

5. 環境経営目標と実績

5.1 中長期計画

- ・中期目標は、3年間の期間固定型とする。
- ・日本テクノ 電気調整後排出係数=0.545 kg-CO₂/kWh を使用。

環境経営目標			2023 年度 基準年実績	2024 年度	2025 年度	2026 年度
二酸化炭素削減	電気使用量 kWh	目標	63,696	63,033	62,383	61,726
		実績	51,227			
	ガソリン使用量L	目標	848	839	830	821
		実績	477			
	二酸化炭素排出量 kg-co ₂	目標	30,948	30,626	30,310	29,991
		実績	29,025			
一般廃棄物削減 Kg	(電力 co ₂ 排出係数)	目標	0.545 日本テクノ	0.545	0.545	0.545
		実績				
産業廃棄物(リサイクル率の向上 %)		目標	288	288	288	288
		実績	288			
水使用量の削減 m ³		目標	—	72	72	73
		実績	71.5			
グリーン購入率 ※グリーン件数／全購入件数		目標	ビル移転し、共同水場となり把握できない			
		実績				
工事現場での環境配慮活動 ※目標達成手段の確実な実施		目標	0.55	0.55	0.55	0.55
		実績	0.59			
全項目実施		目標	全項目実施			
		実績	実施			

(本社) 住居の一室使用のため電気・水使用量は把握不可能、事務用品は墨田支店から支給。
(墨田支店) 2021 年度に新ビル移転により共同水場となり個別把握できず

5.2 2023 年 8 月～2024 年 7 月の目標と実績

環境目標	目標	実績	評価	コメント
二酸化炭素排出量の削減 kg-CO ₂	30,948	29,025	○	
① 電気使用量の削減 kWh	63,696	51,227	○	
② ガソリン使用量の削減 L	848	477	○	
一般廃棄物の削減 kg	288	288	○	定期回収日排出
水使用量の削減 m ³	—	—		

グリーン購入率	0.55	0.59	△	
工事現場での環境配慮活動	実施	実施	○	元請指示を確実に実施
産業廃棄物 リサイクル率の向上	—	71.5	○	

※判定基準：○＝達成 △＝未達成だが案件増による ×＝未達成

6. 環境経営の取組結果と次年度の計画

環境経営 目標	活動計画	実施 評価	次年度の取組
電気使用 量の削減	・空調設定 夏 28 度、冬 20 度 ・不在エリアの空調機 OFF、照明 OFF ・パソコン、複合機の省エネ設定（自動） ・昼休み一部天井灯 OFF ・取組み実施状況確認とフィードバック（当初は毎日）	○ ○ ○ ○ △	エアコン清掃による成果を期待
ガソリン の使用量 削減	・環境省エコドライブ 10 のすすめ の実施 ・エアコン温度 夏 26 度、冬 20 度 ・タイヤ空気圧の月一確認 ・三ヶ月、六か月の定期点検の実施	△ ○ ○ ○	営業車の燃費改善
水使用量 の削減	・節水コマの検討 ・蛇口等の水漏れ確認	△	節水に努める。
一般廃棄 物の削減	・藤ビルメンテナンス ゴミ区分の确实実施 ・ごみ袋が満杯になってから排出 ・個人持込み物は持ち帰る(会社に捨てない)	○ ○ ○	分別を徹底し資源化に努める
産業廃棄 物（リサ イクル）	・工事現場での分別の実施	○	分別を徹底し資源化に努める
グリーン 購入	・エコタイヤ、再生タイヤを発注 ・文房具類は、グリーン製品を発注	— 実施	継続する
工事現場 での環境 配慮	・工事での環境配慮の指導、确实な実施の確認（節電、分別リサイクル、安全衛生、リスクアセスメント）	○	現場の提案を取り込む

評価基準：○＝ほぼ実施 △＝一部で未実施がある ×＝未徹底 —＝事由が発生せず

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟等の有無

	適用事項	評価
葛飾区と墨田区の一般廃棄物の条例	行政指定収集運搬業者への委託	○
	資源と廃棄物の分別排出	○
産業廃棄物処理法	契約管理、マニフェスト管理、保管基準、実績報告	○
フロン排出抑制法	簡易定期点検実施、修理履歴管理	○
建設リサイクル法	特定建設資材のリサイクル	○

○：遵守 △：一部に抜け ×：未実施がある

・環境関連法規への違反はありません。

なお、関係当局よりの指摘は3年間ありません。

8. 代表者による全体の評価と見直しの指示

本年もまた実績の月次モニターや前年度値との比較を通して負荷発生要因を探る等の指導を受けもあり、目標達成となりました。今後は現実施体制を継続させ環境管理責任者・事務局と部門長による検討、取組の指示を行わせ、環境改善を進める所存です。